

Press Release

報道関係者各位

2009年5月11日

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、
エル・ピー

**スティール・パートナーズ・ジャパン、
アデランス株主に対し平成 21 年定時株主総会において
会社提案の取締役候補者への反対と、ユニゾンの公開買付け及び希釈化を
生じさせる自己株式売却の拒否を要請
～ ユニゾンの公開買付けは不当かつ強圧的で既存株主に損害を与える ～**

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピー（以下「スティール・パートナーズ」）は、本日、株式会社アデランスホールディングス（コード番号：8170）（以下「アデランス」）の株主の皆様に対して、来る5月28日に開催される同社の第40回定時株主総会において、ユニゾン・キャピタル・グループ（以下「ユニゾン」）の代表3名を含む、アデランスの取締役候補者選任議案への反対と、公開買付けに対する自己株式の応募への反対を要請しましたのでお知らせします。

スティール・パートナーズは、2004年以来アデランスに投資している長期的株主であり、現在同社発行済株式数の26%超を保有する筆頭株主です。

スティール・パートナーズは、アデランス株主宛メッセージの中で、「ユニゾンの提案した公開買付けの申し入れは、不当であり、強圧的です。またアデランスが自己株式をユニゾンに売却することは株主の持分を希釈化させるものです。」と記しています。

アデランスの経営権取得のために相応のプレミアムを支払う代わりに、ユニゾンは1株当たり1,000円で35.2%を下限とする同社発行済み株式取得の提案をしていますが、これは、2009年2月28日時点の同社一株当たり純資産額である1,582円を大幅に下回っており、また2009年4月15日までの過去1年間の同社株価終値の平均を約25%下回っています。

スティール・パートナーズは、3名の社外取締役の反対にもかかわらずアデランスの取締役会が2009年4月16日にユニゾンの公開買付けへの支持を表明したことについて疑問を投げかけました。アデランスは、約200億円または1株当たり約500円の現金および有価証券を保有する一方で、負債はほとんどないため、資金調達の必要はありません。加えて、アデランス経営陣は、いままで既存の資本で当然上げるべき収益も上げることができていません。

スティール・パートナーズはメッセージの中で、「アデランス経営陣は不当な、既存株主の持分を希釈化させる強圧的なユニゾンの公開買付けを自らの地位保全を図るために提言しているのです。アデランス経営陣には、本来、かかる廉価での公開買付けを提言する合理的な業務上の理由などないはずで」と指摘しています。

また、アデランスの取締役と経営陣が何年も続けて自らの業績予想を達成できておらず、アデランスの株主資本収益率（「ROE」）は過去2年連続してゼロ近く、あるいはマイナスにまで落ちており、今営業年度についてはわずか1%となることを予想していることも指摘しています。

スティール・パートナーズは、「アデランス経営陣は、いままで既存の資本で当然上げるべき収益も上げることができていません。また、彼らは事業計画を達成できず、M&Aも失敗に終わらせ、適正な資本配分を行うこともできませんでした。」と述べています。

スティール・パートナーズは、アデランスの全株主の権利と同社および同社従業員の利益のために、スティール・パートナーズが2009年3月25日に提案した高い資質を備える取締役候補者への支持を呼びかけています。アデランスに2004年以来投資している長期的株主であり同社発行済み株式数の26%超を保有するスティール・パートナーズは、推挙したこれらの候補者こそアデランスの業績と企業価値の改善を加速させるに必要とされる斬新な視点を同社にもたらしてくれるものと確信しています。

スティール・パートナーズが推挙する取締役候補者は、事業再生の豊富な経験を有する候補者、日本の一流企業の経営や事業運営に携わった豊富な知識と経験をアデランスにもたらしてくれる候補者です。

スティール・パートナーズが、自らの推挙する候補者の支持、アデランスの提案する取締役候補者及び自己株式応募への反対を通じてユニゾンのアデランスに対する公開買付けを拒否することをアデランス株主に要請したメッセージは下記ウェブサイトでご覧いただけます。<http://spjsf.jp>

ご注意：

本リリースは、株式会社アデランス・ホールディングス（「アデランス」）の株主の皆様を含め、広く世間の皆様に私どもの見解をお伝えする目的のものです。これは、株主の皆様が、アデランスの定時株主総会にご出席いただくか、招集通知に同封の議決権行使書面を用いて、会社が提案する一定の議案に反対票を投じ、また私どもが提案する議案に賛成票を投じていただくことをお願いする趣旨を含むものですが、株主の皆様は、スティール・パートナーズ又は第三者をその議決権行使の代理人とすることを勧誘し、お勧めし、促し、又は求めるものではなく、また、そのような内容のものと解釈されるべきものではありません。

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピー（SPJSF）について

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピーは、投資先企業との長期的な関係を重視し、株主として積極的に経営陣に働きかけるパリュウ投資ファンドであり、株主を含む全てのステークホルダーのために企業価値を向上させるべく経営陣と協働します。
